



集落の特徴

昭和48年(1973)に、古宮から今の地に移転されて百年目にあたり、高屋神明社御遷座百年祭が盛大に執り行われました。これに際し記念誌が発行され、その中から高屋の歴史を探りました。(以下、引用)

延年元年(1336)高屋正が九州日向國(宮崎県)高屋から、従者数十人と共に当地に留まり、四方の地を開墾して、一大邑を開き、生地の名を受けて高屋と称した。

高屋神明社は、古宮の一本杉(神社境内木)地域にあった。古宮といえば、昔は緑樹が繁り、昼なお暗き所で数本の河川の中の小高い丘の山林地帯、その面積およそ二町歩、これが河川沿いに細長く地区を縦断していて病虫害の発生源で通風採光が悪く、稲作にはいつも悩まされていた。昭和22年から28年にわたる二万石用水の大改修によって河川が一本化され、現在の本流として流れている。この記念碑が一本杉のそそり立つ高台で建設された。小川はいずれも廃川となり、高屋の長年の念願であった開墾事業が昭和31年(1956)、当時の町長が国指定の新農村建設総合対策事業に組入れ、国庫補助事業として着工が始まった。(百年祭記念誌より)

高屋神明社遷座百年祭には、余興として餅まき、道化獅子舞、仮装行列、夜高行燈引廻し等、20名程の青年会員で盛り上げたことが蘇ります。あれから早50年、27戸あった家も24戸に減り、少子高齢化が進んでいますが、令和5年(2023)に実施された高屋神明社御遷座百五十年祭を機に、これからも高屋村の長くて深い歴史を絶やすことなく、旧宮様(古宮)にある一本杉や、螺旋水車施設の維持管理も続けながら、活力ある地区にしていきたいものです。



※注) 一本杉 → P44

※注) 螺旋(らせん)水車の館 → P57

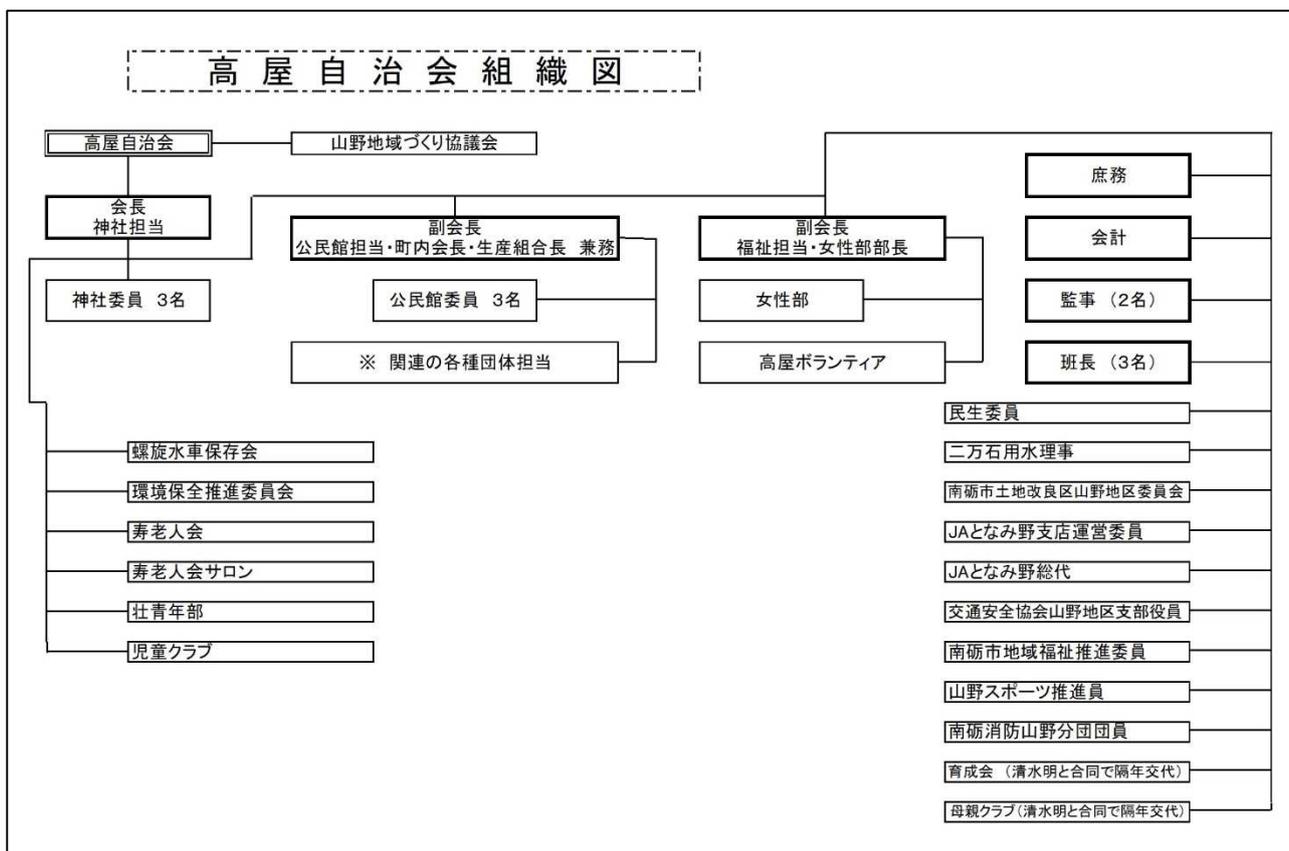


- 役員の決め方
- 自治会の組織図
- 自治会費

役員の役割・決め方・任期

役員名	役割	任期・決め方
会長	自治会及び神社運営	1年・役員で推薦・総会で承認
副会長	公民館担当・町内会長・生産組合長・行政推進員	1年・役員で推薦・総会で承認
副会長	福祉担当、女性部部长	1年・女性部で決定
庶務・会計	庶務・会計一般	1年・会長任命
公民館委員(4名)	公民館運営一般	1年・副会長任命
神社委員(4名)	神社運営一般	1年・会長任命
監事(2名)	監査一般	1年・会長任命

自治会の組織図



自治会費

(単位：円/戸)

費用名	金額 (年間)	主な用途	集金時期・方法
万雑 ^{※注}	約 30,000 円	自治会及び神社運営費等	(6月末)18,000円 (12月)不足分
神明社積立金	10,000 円		10月末

※注) 万雑 (マンゾウ) → P59 コラム

高屋

- 年間の事業内容
- 各種団体の活動



ゆるいルール



慣例・習慣



守るべきルール

行事によってルールの確認が必要です。



納涼祭（バーベキュー大会・花火大会）
～ 子供から大人まで合計 35 名参加 ～



年間の主な地域活動	活動月
新年参拝	1月1日
歳旦祭	1月5日
総会	1月
総報恩講	2月
納涼大会	8月
お盆参拝	8月15日
祈年祭・例祭・新嘗祭	3月・10月
境内清掃	年5回
大祓い（6月・12月）	年2回
墓地清掃	8月
二万石用水周辺除草	年2回程度
全国交通安全週間にバス停で街頭指導	
高屋町内会自主防災会	
～ 年間を通して防災を考え実施を行う ～	
公民館清掃（当番制2名）	月1回
不燃物収集活動(月1回 当番制2名)	第3水曜日
県道・市道沿歩道の清掃	年1回
一本杉周辺清掃	年3回
江浚い※注	3月

各種団体の活動

組織名	対象者 (年齢等)	活動内容
寿老人会 (老人クラブ)	60歳以上	清水明町内と合同で保養活動等
高屋 寿老人会サロン	寿老人会員	いきいきサロン、だれでもサロン 月1回で日曜日に実施 法話会等
壮青年部	18歳～60歳	人数不足で現在活動なし
育成会	小学生・中学生 とその保護者	夏休みラジオ体操、自治会合同で 納涼祭・花火大会等
女性部	町内女性全員	女性部中心で福祉活動、 一人ぐらし老人訪問等
高屋生産組合	町内農地所有 農業者	農地に関する情報共有
第4 機械管理組合	一般社会人	格納庫管理 (清水明・高屋・専勝寺合同)
高屋環境保護 推進委員会	町内一員	環境保全活動、除草・道路整備等
螺旋水車 保存会	保存会員	螺旋水車及びその施設の維持管理
高屋 ボランティア	女性部中心の 組織で3班ぐら いで活動	一人ぐらしの老人宅を定期的に訪 問し、話し相手になったりする。



県道・市道沿歩道の清掃





- 集落の公民館
- 神社
- 見どころ等
- お地蔵様

高屋公民館



高屋公民館（高屋 140 番地）

高屋の神社

令和 5 年に 150 年祭を終えました。お祭りは年 2 回あり、指定された袋にお米を入れ、お神酒を持参して、氏子^{※注}がお参ります。お供え等は神社担当が準備して、宮司をお迎えます。

《役員》 神社委員 会長ほか 3 名
任期：1 年、自治会長任命

【神社の行事】

新年参拝、歳旦祭、祈年祭、大祓い、お盆参拝、例祭、新嘗祭

お地蔵様



上 区

下 区

【地蔵祭】 8 月に地蔵祭を上区・下区別に近くのお寺よりお勤めに来てもらいます。お世話は当番制。朝早くから清掃して準備します。



高屋の一本杉

今をときめく高屋の象徴として高くそびえ立つ「一本杉」は、樹齢数百年ともいわれており、雄大な姿をかもし出しています。

この地は現在「古宮」と称され、150 年前に高屋のお宮様が在ったとされています。高屋全体を見下ろしながら繁栄を支えてきました。これからも皆に愛され静かに見守ってくれるでしょう。



※ 一本杉の高さは約 20 m、胴回りは約 6.2 m です。

※注) 氏子 (ウジコ) → P39 コラム